

ヒンドゥー教の祭事で額に 塗られる Tika (ティカ)。お 米に砂糖とアビルと呼ばれ る赤粉を混ぜて作ります。 赤い色はエネルギーと強さ の象徴だそうです。

あじけん通信

2025 October VOL .214

企画・編集 澁谷 健司/栗又 由利子

10月に入りようやく、登下校時の実習生の皆さんから「せんせい、さむいですねー」との声が聞えてくるようになってきました。暑さ厳しい東南アジアから来たばかりの実習生はもちろんのこと、先月半ばくらいに来日してきた皆さんも、最近の急激な気温の変化に驚きや戸惑いを隠せないようです。その他にも、家族と離れ離れになる不安や、日本語で上手く意思疎通できない苛立ち等からくる様々なストレスを抱えていることでしょう。

そんな実習生の皆さんですが、教室は「勉学の秋」の到来を感じさせる、元気な声と明るい笑顔が溢れています。

あじけんスコープ Vol.135 ~ヒンドゥー教の祭事 Tika (ティカ) の日~

今月はネパール人実習生の皆さんが 10 月 3 日 (木) にお祝いした Tika (ティカ) の日の様子をレポートします。 Tika の日とは、ネパールのヒンドゥー教徒が 1 年で最も重要と考えているお祭り Dashain (ダシャイン) 祭の期間中に行われる重要な儀式の日です。この日ヒンドゥー教徒の家庭では家族が一堂に会し、神様にお祈りを捧げます。次に年長者から額に赤い Tika を付けてもらいます。



今月の実習生



今月は 10 月 17 日(金) に母国で離れて暮らすお子さんが、めでたく 1 歳の誕生日を迎えるベトナム人実習生 TRAN QUOC TUAN (トゥアン) さんを紹介します。とても真面目で勉強熱心なトゥアンさん。奥様やお子さんとの離れ離れの生活は、辛いことも多いでしょうが、家族の将来の為にも、健康に気を付けて頑張ってください!

はじめまして。トゥアンともうします。はじめて日本へまいりました。日本のせいかつはたのしいし、おたらしいことがたくさんちります。私はむすめがひとりいます。来週、むすめは1さいになります。毎晩ガぞくにてよわをして、むすめとはなします。
今、かぞくととおくはなれていますが、毎日かんばっています。

あじけん流日本語授業

~「日本語を話したくなる」授業~

今月のあじけん流日本語授業は、「日本語を話したくなる」授業をご紹介いたします。

実習生が何か自分のことを「相手に伝えたい」と思うときはいろいろあると思いますが、特に自分の国の文化や習慣については、相手に伝えたいという気持ちが起きやすくなります。しかし、相手はその文化や習慣がわからないので、状況、様子を伝えるには、より正確な日本語表現が必要になってきます。その時が日本語学習のチャンス。講師は、その「話したい」という気持ちを大切にして、授業を行うようにしています。

今回は「私の国の結婚式について話す」をテーマにした授業を行いました。結婚式は、特に国の文化の特徴が出やすく、相手に伝えたい気持ちが強くなります。まず、国籍の違うクラスメートと向かい合う形で座り、そこで、講師が作成したインタビューシートをもとに目の前にいる、自分とは違う国籍のクラスメートに質問をしていきます。インタビューシートには、結婚式の人数のこと、衣装のこと、当日の催し物のことなどを質問するように書かれています。それらを説明するためには、数字を表す日本語、色や形を表す日本語、動作を表現する日本語をフルに使わなければなりません。ですので、みなさん、国から持ってきた教材や辞書、当校の語彙集などから必死に自分が表現したい日本語を探していました(写真①②)。この後発表もしましたが、発表よりもこの過程が非常に大切だと思っています。実習生は必死に自分の国の結婚式の様子を身振り手振りも加えながら説明していました(写真③④⑤⑥)。講師への質問も増え、メモを取ったりして、この時間だけで実習生の日本語力が少し上がったと思います。

今回は「結婚式」をテーマにしましたが、他にもいろいろなテーマを設定することが出来ます。実習生の話したい欲求が出てくるようなテーマを講師同士でも情報交換などをしています。

これからも、実習生の「話したい」気持ちを引き出し、そして「日本語を話すことはおもしろい」と思ってもらい学習のモチベーションが上がるような授業を行っていきたいと思います。



写真①:辞書を使って言いたいことを調べています



写真②:語彙集を使って調べています









写真3456: どのグループも真剣です。

